

2013 年度 入学 試験 問題

日本史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。また、折りまげたり、汚したりしないでください。記述解答用紙の下敷きにマーク解答用紙を使用することは絶対にさけてください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。
6. マーク解答用紙の受験番号および受験番号のマーク記入は、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

I 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。解答はすべてマーク解答用紙にマークしなさい。(30点)

10世紀に入ると、東アジアの情勢は大きく変化することとなり、この潮流は我が国の外交政策や文化に大きな影響を及ぼした。

中国では、8世紀の安史の乱以降、唐の国力は衰えを見せはじめ、9世紀末の10年近くにおよぶ黄巢の乱の後、907年に唐は滅びた。五代十国を経て、960年に宋が建国され、979年に宋が中国を統一した。また、奈良時代以降、我が国と親交のあった渤海が、926年に遼(契丹)に滅ぼされた。朝鮮半島では、10世紀はじめに高麗が建国され、新羅を滅ぼして朝鮮半島を統一した。

このような、唐を中心とした東アジア文化圏の秩序が崩れていく中で、894年、菅原道真の建議に基づいて遣唐使は中止された。しかしながら、国家間の交流が衰退したのに対し、唐や宋の商人の来航はますます盛んになった。

遣唐使の中止と唐の滅亡により、大陸文化の影響が次第に薄れ、これまでの大陸文化の消化のうえに立って、我が国の風土にあった優美で繊細な貴族文化がおこった。洗練された貴族文化の形成には、宮廷貴族社会の成立も背景にあった。

醍醐天皇が即位すると、菅原道真は藤原氏により失脚させられ、藤原氏を中心とする宮廷貴族社会が成立していった。また、朝廷での儀式の作法・故実も整備されていった。朝廷では、年中行事が滞りなく行われることが重視され、先例が積み重ねられた。貴族は先例を子孫に伝えるため、日記を記して毎日の政務や儀式を記録した。また、先例を分類し、祖先の口伝や教命を受け継いで、儀式のあり方を詳しく記した儀式書もつくられた。

この時代の文化を国風文化といい、和歌、物語、日記文学などが発達した。貴族の生活様式にも変化が見られるようになり、衣服は唐風の装束から和風の優美なものに変わり、男性の正装は束帯やそれを簡略にした衣冠、女性の正装は唐衣や裳をつけた女房装束であった。また、仏教が貴族社会に定着し、現世を安穩に暮らしたいという貴族の望みにこたえていた。

問1 下線部①の安史の乱の混乱に乗じて、新羅への攻撃を計画した人物として正しい者を1人選び、その記号をマークしなさい。

- a 藤原広嗣
- b 藤原仲麻呂
- c 藤原百川
- d 藤原冬嗣

問2 下線部②に関する記述として正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 渤海は、唐や新羅に対抗するために我が国に使者を派遣したが、両国の関係は渤海が我が国に臣従する形をとっていた。
- b 我が国からも渤海に使者が派遣されたが、その回数は渤海からの使者の回数を上回るものであった。
- c 渤海の宮都跡から和同開珎が発見されている。

問3 下線部③に関する記述として正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 菅原道真は、六国史の内容を整理した史書である『類聚国史』をまとめた。
- b 菅原道真は、女婿の齊世親王を即位させようとしていると訴えられ、右大臣から大宰権帥に左遷された。
- c 菅原道真は、勅撰漢詩文集である『菅家文草』をまとめた。

問4 下線部④に関する記述として正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 朝廷の許可を得て宋にわたる僧もおり、このような僧により最新の仏教が我が国にもたらされることになった。
- b 宋の商人は、松原客院や能登客院で歓待を受けた。
- c 宋からの文物への需要が大きいため、朝廷は宋との国交を開いた。

問5 下線部⑤の年中行事の組み合わせとして正しいものにはイ，誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 仏事 — 灌仏
- b 神事 — 大祓
- c 政務 — 除目

問6 下線部⑥の儀式書の組み合わせとして正しいものにはイ，誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 藤原公任 — 『北山抄』
- b 大江広元 — 『江家次第』
- c 源順 — 『西宮記』

問7 下線部⑦に関する記述として正しいものにはイ，誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 貴族の邸宅の屏風や襖障子には，日本の風景や風俗を題材とした蒔絵が描かれていた。
- b 『古今和歌集』には仮名の序があり，これは公的な文書に平仮名が登場するきっかけとなった。
- c 定朝が完成させた寄木造は，分業による仏像の大量生産を可能にした。

問8 下線部⑧に関する記述として正しいものにはイ，誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 貴族の着る衣服では，主として綿が素材として用いられていた。
- b 食生活では，年貢として上納された米を蒸して食べていた。
- c 貴族社会では，仏教の影響が強かったため，獣肉を食することを忌む習慣が広がった。

問9 下線部⑨の束帯を構成するものとして正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 直衣
- b 平緒
- c 水干
- d 狩衣

問10 下線部⑩の撰関時代の仏教に関する記述として正しいものにはイ，誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 貴族社会では浄土信仰が趨勢となったため、天台、真言の二宗は勢力を弱めることとなった。
- b 比叡山，高野山，東大寺大仏殿では，女性の参入が禁止されていた。
- c 『往生要集』の影響もあり，往生しようとする人をむかえるために仏が来臨する来迎図もさかんに描かれた。

II 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。問1は記述解答用紙に答えなさい。問2～問8はマーク解答用紙にマークしなさい。(30点)

3代将軍徳川家光が1651年に死去し、その子の家綱^①が将軍となった。将軍就任当時幼少であった家綱は、成人後の1663年に武家諸法度をだし、大名にその遵守を求め、さらにその翌年には領知 状を発給した。これらはいずれも将軍家綱と大名の主従関係を再確認するものであった。

家綱の治世のはじめのころは、家光の弟で会津藩主である や、家光時代以来の老臣らが幼少の将軍をささえていたが、のちには下馬将軍とよばれた大老^②が実権を握り権勢をふるった。

家綱には男子がなく、1680年に家綱が亡くなると、家綱の弟の綱吉^③が5代将軍となった。綱吉は、 騒動のひとつである越後高田藩の内紛をみずから裁いたり、農政に力を注ぐなど、政治に積極的に取り組んだ面もあったが、他方で生類憐みの令を強制したり、老中と将軍の間の連絡にあたる をおいて重用するなどしたため不評をかったりもした。

綱吉は儒学に関心が深く、林家が祀っていた 廟や林家の私塾を湯島に移して整え、林信篤を に任じるなど儒学を奨励した。1684年に綱吉は、喪の期間などを定めた 令を制定したが、これは儒教的な親族間の上下関係を制度化しようとするものであった。

綱吉は、たとえば北村季吟を 方とするなど、儒学以外の学問にも関心を示した。また、仏教にも深く帰依した。

綱吉の治世のころは新しい文化が生まれてきた時代でもあった。絵画では幕府に召し抱えられた御用絵師^④の活躍も続いていたが、その一方で、庶民を対象とした版画^⑤がつくられ広く販売されるようになった。演劇の世界では人形浄瑠璃や歌舞伎が庶民の娯楽として発展した^⑥。学問の世界では儒学や国学などのほか自然科学の分野でも多くの成果がみられた^⑦。

問1 文中の空欄 ～ に入るもっとも適切な語・人名を漢字で答えなさい。

問2 次のうち下線部①の家綱の時代のできごとであればイ、そうでなければロをマークしなさい。

- a 対馬藩主宗氏と朝鮮との間に己酉約条が結ばれた。
- b シャクシャインの戦いがおきた。
- c 諸社禰宜神主法度が制定された。

問3 次のうち下線部②の大老にあたる人物を1人選び、その記号をマークしなさい。

- a 前田利家 b 松平信綱 c 堀田正俊 d 酒井忠清

問4 次のうち下線部③の綱吉の政治の説明として正しいものにはイ、そうでないものにはロをマークしなさい。

- a 真鍮座を設け、運上金を納めさせた。
- b オランダ船および中国船との年間貿易額に上限を設けた。
- c 小判ばかりでなく銀貨についても従来より品位の劣る通貨を発行した。

問5 下線部④に関連する説明文として正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 本阿弥光悦は尾形光琳の画風を発展させ装飾画を大成した。
- b 松尾芭蕉は旅を重ね、『笈の小文』や『奥の細道』などの作品を残した。
- c 宮崎友禅は権現造とよばれる新しい建築様式を考案した。

問6 次のうち下線部⑤の江戸幕府の御用絵師となった人物を1人選び、その記号をマークしなさい。

- a 狩野永徳 b 住吉具慶 c 土佐光起 d 鈴木春信

問7 下線部⑥に関連する説明文として正しいものにはイ，誤っているものにはロをマークしなさい。

- a かぶき踊りは芳沢あやめがはじめたものである。
- b 竹本義太夫，辰松八郎兵衛らがあらわれ，人形浄瑠璃の人気を盛りあげた。
- c 近松門左衛門は世話物のほかに『国性爺合戦』などの武家物とよばれる脚本を書いた。

問8 下線部⑦に関連する説明文として正しいものにはイ，誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 安井算哲は平安時代から用いられていた暦に代わる貞享暦をつくった。
- b 貝原益軒が灰吹法を発明し，これにより銀の産出量の増加傾向に拍車がかかった。
- c 関孝和は代数学のほか円周率などの研究を進めた。

III 次のA～Fの文章は『外交回想録』からのものである。これらの文章を読み、下記の間1～間7について、記述解答用紙に答えなさい。(40点)

A この条約の作成に当たって日本に直接関係があったのは山東問題であった。この問題では日本代表部と中国代表部の間で正面衝突を来す結果になった。日本は早くからドイツに対し開戦し、ドイツの 湾に対する利権は日本の実力によって日本が回収したのだから、山東におけるドイツの条約上の権利は平和条約によって、当然日本が継承すべきものだという意見だった。しかし中国代表部は、中国も対独宣戦し、勝利に貢献したのだから、中国の領土内における敵国の条約上の権利は当然中国が継承すべきだとの立場をとった。つまり山東の取り合いであった。

日本側では終局的には中国に返還する意向を明らかにしていたが、ドイツの条約上の権利はいったん日本側が継承することが日本側の面目で、これが参戦の唯一の報酬であると主張した。結局この強硬な日本の主張はそのまま通って、 湾に関する条項が平和条約に書き入れられることになった。これは全く日本全権の賜物であって、日本外交上の勝利であったことは間違いのないことであるが、大局から見れば日本はまだ大国として成長していなかったわけである。日華の関係はこれがため正面衝突を来し、中国代表は対独条約の調印を拒否し、中国側は民衆を率い排日運動に狂奔して、ついに一兩年後のワシントン会議では中国における日本の政治上の権益、特に山東還付の交渉となったのである。

B 中国における排外、利権回収熱は第一次世界大戦中にますます昂揚してきたが、日本の 内閣時代のいわゆる二十一カ条要求、 内閣の西原借款提供によって排日熱が激しくあおられてきた。中国における不平等条約廃棄の反帝国主義的運動は、一九一七年ソ連革命の影響をうけて、学生運動となりまた労働者の扇動となって、ますます激化する有様だった。これらの排外、反帝国主義運動は、戦争終結を機に、山東省におけるドイツの持っていた利権を直接中国に回収するということに集約されることになり、五・四事件などもこれに関連して起こってきた。この運動はパリにおける中国全権のベルサイユ条約不調印の強硬な態度にあおられて、ついに中国全土を風靡するようになった。

C 当時 [4] 内閣はこの問題のみならず、外政、内政両面にわたって議会で攻撃を受け、特に貴族院の空気が悪化して、議会上における多数を制することが困難になっていた。[4] 首相は六月二十九日「満州某重大事件」の調査内容を発表することに一度は決定し、その文案までできあがっていたが、その前日の二十八日になって、陸軍側の猛烈な反対で発表を中止し、ただ責任者として [5] 大佐を停職とただけだった。しかし、これと同時に内閣総辞職を決意、満州事件は闇から闇に葬られたが、[4] 首相は七月二日朝辞表を捧呈した。[4] 内閣は済南事件の解決には成功したが、その対華政策に対する全体的な不信用が退陣を余儀なくさせたのであった。

D 満州ではいろいろと日華の間に事件が起こり、係争問題が多くなった。特に不幸な事件は七月初めに起こった [6] 事件であった。この事件は [6] 地域で長い間農耕に従事していた朝鮮人のもっていた商租権を、中国側では認めないという立場をとり、朝鮮人の耕地を没収しようとした。そこで朝鮮人の利益を保護するために日本の警察官が出動し、ここに中国側の多数の地方民と衝突するにいたった。このため日華双方の軍隊の出動さえ見そうになるまで形勢が悪化してきた。さらにこの事件は朝鮮人を非常に刺戟し、[6] の復讐に朝鮮各地で中国人排斥の暴動が起こった。

E 満州が中国の領土であることは世界の公認するところで、日本もむろん異存はない。しかし日本がその満州の最も重要な南端、[7] 半島に旅順、大連などの [8] 権をもち、この [8] 地は南満州鉄道とその付属地という帯のような鉄道要地で北満鉄道と連絡し、満州の中心ともいふべき南満州を東西に分離しているような状態になっていた。日本はこの [8] 地及び鉄道付属地には日本の国内法を適用し、日本の領土と同じように見ていた。そして日華間のいわゆる二十一カ条条約からできた「南満州及び東部内蒙古に関する条約」(一九一五年)という取り決めで得た満州における商租権によって、日本人、朝鮮人が鉄道付属地以外の奥地にも治外法権をもっているという建前を堅持していた。

F 蔣介石は華北，内蒙方面に対する日本軍の進出を気にして，この方面の状態を視察するために十二月初め飛行機で北方に赴き，西安で [9] と会見した。当時華北方面一帯は延安に本拠をおく共産軍の勢力範囲で，共産軍は既に日本に宣戦を布告し，その組織をあげて日本軍と公然あるいは地下的に戦っていた。その共産勢力の地域に逃げ込んで行った [9] が日本反対という点で共産軍と完全に一致し，日本軍に共同戦線を張っていた。そういう事情にあったので，[9] は共産党の領袖 [10] と共に，蔣介石にこの際は共産軍と共同戦線で外敵日本に当たることを強く進言したが，^④蔣介石が共産党と妥協することを承知しないために，ついに十二月十二日蔣介石を監禁し，翌十三日これを発表したのである。

問1 空欄 [1] ~ [10] に入るもっとも適切な語・氏名を漢字で答えなさい。

問2 下線部①に関連して。1925年，上海の日本人経営の紡績工場（在華紡）で中国人労働者の待遇改善を要求するストライキが発生した。次いで，同地の労働者・学生らによる反日・反英デモにイギリスの警官が発砲し死傷者を出した事件をきっかけとして，反帝国主義運動は中国全土に拡大していった。このきっかけとなった事件は何とよばれているか答えなさい。

問3 下線部②に関連して。政府は，1927年6月から7月にかけて，中国関係の外交官と軍人を東京に招集し，「満蒙は中国領土にあらず」と結論づけた「対支政策綱領」を決定した。この会議は何とよばれているか，漢字で答えなさい。

問4 下線部③に関連して。1932年9月，満鉄経営の撫順炭鉱が抗日ゲリラに襲われ，炭鉱は大きな損害を受けた。これに対して，関東軍守備隊が炭鉱労働者の居住する近傍の中国人住民を集めて多数虐殺するという事件がおこっている。この事件は何とよばれているか，漢字で答えなさい。

- 問5 下線部④に関連して。中国国民党と中国共産党は以前にも提携したことがあったが、日中戦争が勃発するとふたたび提携することを宣言し、日本に対する共同戦線が結成された。この共同戦線は何とよばれているか、漢字で答えなさい。
- 問6 『外交回想録』の著者は、外交官から外務大臣となり、1945年9月2日、日本側全権の1人としてミズーリ号上での降伏文書に調印した人物である。この人物の氏名を漢字で答えなさい。
- 問7 Aの文章にあるワシントン会議に関連して。この会議に参加した国ぐにの間で、中国に関する条約も結ばれたが、この条約名とその主要内容、そして、この条約の原則に基づいて日本が中国に対しておこなったことについて、100字以内（句読点を含む）で述べなさい。